

スポンサー様

TERENGGANU WORLD INVITATIONAL JETTRACE CHALLENGE 2011



開催日

4月1・2・3日

出場クラス

Pro Runabout 4stroke Stock

Endurans (75min + 1 周)

結果

クローズド

Moto#1:5 位

Moto#2:6 位

Moto#3:2 位

Moto#4:4 位

クローズド総合

3 位表彰台

エンデュランス (耐久)

10 位

今回のレースは初めての地、そして初めての 4 ストロークランナバウト艇でのレース出場でした。場所はマレーシアのクアラトレンガヌという首都のクアラルンプールからは飛行機で 1 時間・車では 6 時間の場所で、使用艇は SEA-DOO RXT-X255 でした。

今回僕の出場した Pro Runabout 4stroke Stock は各国の招待選手が出場していて、僕を含めアメリカ、イタリアやフィンランド、インドネシア、イギリス、カナダ、ブルネイからのインターナショナルライダーや多くのマレーシア人が出場していてフルグリッド状態でした。

1 日は午前中に受付やインスペクションがあり、午後からプラランという感じでした。前々日からマレーシア入りしていたもののなかなか船を貸してくれるオーナーとの調整がつかず、RXT-X での練習時間はプラランの何時間かでした。船自体は完全なストックで唯一スポンソンが変わっている程度で、エンジンの吹け上がりやトップスピードがいまいちなものの、旋回性能は悪くは無かったです。

2 日からはレースが始まり、午前には Moto#1 があり午後に Moto#2, Moto#3 とありました。

迎えた Moto#1 ではアウトの 3 位で合流では 7 位でした。その後に 1 艇をチョイスで抜き、ラスト 1 周で前艇のミスを突き 5 位でのゴールとなりました。

午後に行われた Moto#2 ではインの 3 位で合流では 6 位でした。前艇には真後ろまで追いついたものの、抜くことができず 6 位でゴールでした。

Moto#3 ではスタートが上手くいき、インの 2 位で最終ブイを曲がることができ、アウトのホールショット艇と並ぶようにして 1 ブイを曲がりましたが、なんとか競り勝てたので 2 位に上がることができました。その後は 1 位には離されてしまったものの、3 位を離すことができたので 2 位のままゴールできました。

この日の Moto#3 までの総合順位は 4 位で、次の日の Moto#4 で 3 位と 5 位の前でゴールをすれば表彰台確定という順位にきていました。

3 日は午前中に Moto#4 があり、午後からはエンデュランスがありました。

Moto#4 ではアウトの 2 位で合流では 5 位でした。その後は 1 艇を抜き 4 位に上がり、3 位に追いついたものの急にエンジンの調子が悪くなり、前艇を追うどころか 5 位に追いつかれる状況になりました。それでもなんとか逃げ切ることができ 4 位でゴールしました。それでも結果としては Moto#3 までの 3 位と 5 位の前に出れたので、総合で無事 3 位表彰

台を獲得できました。

午後から行われたエンデュランス（耐久）では、作戦としては 1 ピット作戦でいきました。ちなみに、このエンデュランスはライダー交代が認められていません、一人のライダーが最後まで走る必要があります。この点は、今まで走ってきた UAE の耐久と同じです。スタート方法はポンツーンの上にライダーが座り、そのライダーの足をリアデッキの上に置き、テザーコードは手に持ち、「ボンッ」という合図と同時にライダーは乗り込みテザーコードを差してスタートという感じでした。

割と僕は反射神経が良い方なので、オープン艇 3 艇に続いて 1 km 程までは 4 位でした。しかしそれから次のブイまでの 2km で速いストック艇に抜かされてしまい 9 位でホームストレートに帰ってきました。コース自体は 1 周が 4~5 分程で半分がフラットウォーターで半分が外海の荒れた場所という感じでした。

速いストック艇には外海では少しずつ追いついていくものの、フラットな場所では離されていってしまいました。それでも頑張って走り続けた結果 45 分頃には 1 位まで上がりました。このまま行けば良いと思っていたのも束の間、その周のうちに急にエンジンが止まってしまいました。何度かけなおそうと思っても 1 度もかからず、ついにはレスキューされてしまいました。その後何十分かしてなんとか給油所までたどり着き、すぐ給油をしてエンジンをかけてみたらかかるのでもう 1 度コースに戻り、残り少ない周回で何艇か抜いてゴールしました。リザルトでは 10 位になっていたのも、トラブルがあったと考えると悪くは無いと思います。

レースを終えての感想

初めての 4 ストロークランナバウト艇でのレースでしたが、上手い出来ないことが多かったものの、楽しく走ることができそして 3 位という結果も残すことができました。また僕のクラスのトップ 3 は全て招待選手なので、なんとか面目を保つことができました。

エンデュランスは予想外の事が起き、順位を大きく落として表彰台も落としてしまいましたが、こちらも楽しく走りきることができました。

また来年も招待選手として呼ばれる予定なので、来年はレンタルボートではなく自分の船を持ち込んで勝ちにいきたいと思います。

この後、UAE（アブダビ：翌週、ドバイ：翌々週）でレースが続きますので、マレーシアから、直接 UAE へ飛びます。UAE でのレースもシリーズランキング上位につけていきますので、全力で戦ってこようと思います。今後とも、応援宜しくお願い致します。





TEAM WPS JAPAN

1 小原 聡将